

ストリングの基礎知識

今回解説してくれるのは

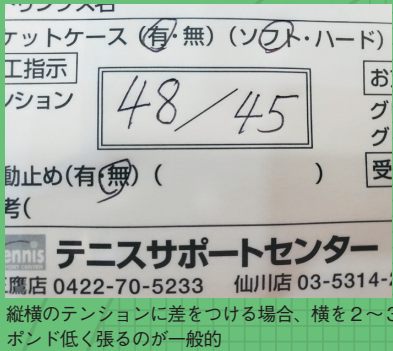


鈴木貴也

(テニスサポートセンター三鷹店)
プロやアマを問わず、常に最高のクオリティを提供することを心掛ける。ストリンガー歴9年。「なんでも相談してください」と語る。

知っているようで、あまり知られていないストリングのこと。このコーナーでは、読者から寄せられた素朴な疑問を、プロのストリンガーに答えてもらいました。皆さんのテニスライフ向上に役立ててください

ポリを長持ちさせる方法と縦・横のテンションの差について



テニスサポートセンター三鷹店 0422-70-5233 仙川店 03-5314-...
縦横のテンションに差をつける場合、横を2~3ポンド低く張るのが一般的

Q 縦系と横系のテンションに差をつけると、使用感にどのような違いが生まれますか?
(テニス歴2年/30代女性)

テニションに差をつけると打球感が変わる

縦系と横系のテンションを大きく変えることは、ラケットの破損やケガにつながることもあるためお勧めできませんが、一定の範囲内で差をつけることで、自分に合った打球感に調整することが出来ます。

これはラケットの変形が影響しています。横系のテンションを縦系より高くすると、縦長に痩せたラケットが完成します。これにより、ボールの弾き感が強調されて、通常より少し硬い、シャープな打球感になります。逆に、横系のテンションを低くすると、横に太ったラケットに

なり、弾き感が抑えられて、柔らかく、マイルドな打球感になります。プロ選手の場合、横系のテンションを下げる人が多い印象ですが、もちろん、差をつけたい選手もいます。全ての選手に共通しているのは、自分の好みの打球感に合わせて変えているということです。

まずは、ショップの店員さんに現在のラケットがどのような形になっているのかをチェックしてもらってください。その上で、自分の好みに合わせて、横系のテンションを調整してみてくださいいかがでしょうか?

Q ポリを張っていますが、1週間ほどで切れてしまいます。長持ちさせるためにはどうすればいいですか?
(テニス歴5年/高2男子)

太いゲージに替えてみる

ポリストリングを長持ちさせるためには、同じストリングの1つ太いゲージに替えてみてください。太くなるほど耐久性が上がります。ただし、ゲージを替えると、打球感や飛びに影響が出ることもあります。まずは、縦・横どちらかの、よく切れてしまう方

を太いゲージに替えて、同じストリング同士のハイブリッドを試してみてください。打球感・ボールの飛びなどの違和感を少なくすることが出来ます。

保護アイテムを使ってみる

太さは変えたくないという方には、ストリングを保護するアイテムをお勧めします。ストリングが切れる要因に、ストリング同士の摩擦や溝(ノッチ)の発生がありますが、アイテムを使用することで、それを軽減させることが出来ます。アイテムには、ストリング全体に塗って溝の発生や摩擦を抑えるものや、交差したストリングの間に挟み摩擦を防ぐものなどがあります。アイテムを使用することで、飛びや打球感に影響することもありますので、使い方はショップの店員さんに相談してください。

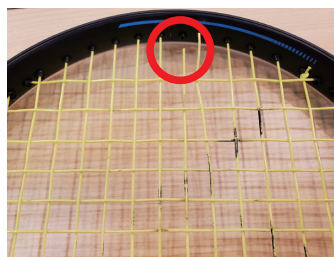
左はストリングの交差部分に装着するタイプ。右は表面に塗布して使用するタイプの保護アイテム。どちらもストリング同士の摩擦を低減する効果がある



ストリング都市伝説

下手なプレーヤーは、ポリストリングで角切れを起しやすい?

ポリストリングは耐久力が高いため、打球時にフレームの内側に大きく負担が掛かります。負担が蓄積して切れる場合が多いので、一概に下手だから角切れが多いとは言えません。角切れが多い場合には、お店の人に相談してみましょう。



角切れは、ボールを面の真ん中で捉えられていない証拠だとされてきたが、必ずしもそうではないようだ

談してみてください。他にも、ストリングパターン、の細かいラケットを使用したり、テンションを下げたりすることで、長持ちさせることも出来ます。しかし、プレーへの影響も大きいと思いますので、まずはこの2つの方法を試してみてください。